

2011年度

科目名	東洋文化史B				
担当教員	梯 信暁				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	12037
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	中国古典の研究				
目的と概要	東アジア諸地域の文化に大きな影響を与えた中国古典文献を紹介し、そこにあらわされた世界観・人間観・社会観などを分析して、東洋文化の淵源に触れるとともに、漢文文献の解読に必要な基礎知識の習得をめざします。後期開講のBでは、漢代に伝来した仏教と中国古来の思想との出会いがテーマです。今年度は牟子の『理惑論』を講読します。「仏」の意味や、靈魂のとらえ方、輪廻の理解など、初期中国仏教の問題意識を分析します。講読にあたっては、テキストのデータ化をめざし、受講生にはコンピュータを用いて課題に取り組んでもらいます。				
成績評価法	授業中の発表50％・課題レポート50％				
テキスト	原典資料をプリントして配布します。				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講読にあたっては各自の分担箇所はもちろん、それ以外の部分についても、ノートに原文を書き写し、書き下し文・現代語訳を作成した上で講義に臨んでください。				
講義計画					
1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 中国仏教史概説 3. 牟子『理惑論』解題 4. 『理惑論』講読：仏伝 5. 『理惑論』講読：仏とは、道とは 6. 『理惑論』講読：仏教の教説に対する種々の疑問 7. 『理惑論』講読：孝の思想と出家の意味 8. 『理惑論』講読：礼の思想と仏教 9. 『理惑論』講読：靈魂のとらえかた 10. 『理惑論』講読：中華思想と仏教 11. 『理惑論』講読：世俗の福德 12. 『理惑論』講読：仏法初伝 13. 『理惑論』講読：五経と仏教 14. 『理惑論』講読：仏教と神仙術 15. まとめ					